

緑の中の不法投棄

ふるさと光の象徴でもある九十九里海岸に限らず、町の至る所でゴミが捨てられています。誰もが求めて止まない美しい緑の自然環境、この中にも平然と捨てられています。

こうした現状をどう考えますか、ゴミ問題をみなさんと今一度考えていきたいと思います。

私たちの生活に影響

今、ゴミの不法投棄は町の至る所に行われています。人目につかない山林や分譲地を始め私たちの公共の財産である河川や海岸一帯まで広範囲に広がっています。一般家庭から排出されるゴミが大半で、空き缶から冷蔵庫等の大型のものまで多種多様なものが捨てられています。不法投棄は自然景観を壊すだけでなく土壌の汚染が進み、野生動植物へは悪影響をおよぼします。土壌の

今何をしなければならぬかを改めて考えて見る時ではないでしょうか。

今、何をすべきか

自然維持のための話し合い

- ふるさとの自然、きれいなせせらぎ、気持ちよく安心して暮らすことのできる環境はどうすれば維持できるのか、あるいは取りもどすことができるのか、家庭内で話しあってみるのも良いことだと思います。
- 例えば
○生ゴミはコンポスターへ
○リサイクル品目はリサイクルへ
○過剰な包装は断る
○使えるものは修理して使う
○リサイクルフリーマーケットのグループをつくる
考えれば考えるほどお得で環境にやさしいことばかりです。是非考えてみてください。

お金のからないリサイクル

中学校では環境問題に真剣に取り組んでおり、その一つの行動として、アースデイを設定し、生徒自らが古紙回収を実施しています。町も6品目を対象にリサイクルの日を設定し、5月からスタートをしています。ゴミとして排出すればお金がかかりますが、リサイクルはお金がかかりません。リサイクルを上手に利用し

国際地球の日
(アースデイ)
中学校

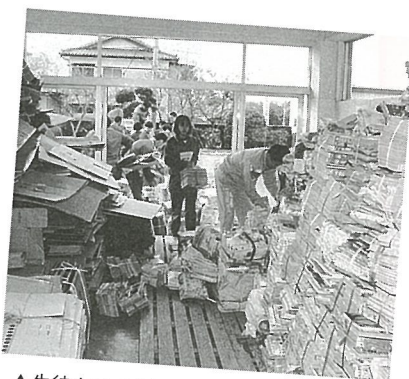
緑や環境を大事にしよう

樹木は、紙の原料です

中学校では、地球環境についての理解を深め、新聞の再利用を通して環境を守る大切さ、物を大事にすることの大切さを考える国際地球の日を設け4月17日にリサイクル活動をしました。当日は、生徒たちの呼びかけにこたえるかのようにたくさんのお新聞が集まり生徒たちは整理におわっていました。



▲前日に各家庭を回りリサイクルの主旨を話し協力を呼びかける生徒たち



▲生徒たちの呼びかけにこんなに反響がありました。整理に悲鳴が出そうでした。